

3月定例教育委員会 会議録

日 時	令和2年3月11日(水) 午後16時00分～午後17時00分									
場 所	甲府市役所 9階 会議室9-2									
出席委員	小林教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・岡田委員									
出席事務局職員	饗場教育部長・太田教育総室長・佐藤生涯学習室長(生涯学習課長兼任)・星野総務課長・寺田学校教育課長・穂山教育施設課長・西海甲府商業高等学校事務長・碓井甲府商科専門学校事務長・田中歴史文化財課長・小林スポーツ課長、本田図書館長・橘田総務課課長補佐・末木総務課係長・星野総務課主任・功刀総務課主任									
傍聴人	なし									
署名委員										
委員会書記										
・教育委員あいさつ										
・会議録署名委員の指名 末木委員										
・2月定例会会議録の承認 原案のとおり承認										
<table border="0"><tr><td></td><td>小林</td><td></td></tr><tr><td>末木</td><td></td><td>市川</td></tr><tr><td>岡田</td><td></td><td>原</td></tr></table>			小林		末木		市川	岡田		原
	小林									
末木		市川								
岡田		原								
1 開会 小林教育長 これより3月定例教育委員会を開会します。 (1) 教育委員あいさつ 小林教育長 いよいよ一雨ごとに春めいて来ました。今年は暖冬の影響で桜の蕾も既に大きく膨らんでいます。例年にない早い開花を迎えるのではないのでしょうか。しかし、現在の新型コロナウイルス感染症の広がりの中では今年はゆっくり花見もできない状況にあります。 さて、そんな状況下で、本日午前中に市立中学校の卒業式が時間短縮・簡素化する中ではありますが、無事行うことができたことは何よりのことだと思います。新型コロナウイルス感染症の問題は、感染の拡大などいつ收拾するか全く見通しが立たない中、事態のさらなる悪化が懸念されます。ウィルスという見えない相手だけに、社会不安や恐怖感が増大しデマや間違った情報の拡散など別の問題も起きています。私たちにはこれまで以上に、正しい情報を基にした冷静な対応が求められています。										

一月に中国の武漢で発生した新型コロナウイルス。あっという間に世界に広がってしまいました。改めて、いかに世界の人が行き来が多いか、そしてその速さに驚かせられるとともに、世界のグローバル化を目の当たりにしたように思います。このコロナウイルスの問題からも、私としてはグローバル化という言葉を使うことがあっても、実感として理解できていない部分や世界のことを知っているようで知らないことが多いことに気づかされました。私たちは普段、世界のニュースを見聞きする時は、多くが戦争や事件事故など暗いニュースに触れることの方が多いように思います。また、そういうニュースを基に世界をイメージしがちです。私は、最近、アメリカのタイム誌が選ぶ世界で最も影響力の大きな100人にも選ばれたことのあるスウェーデンの医師ハンス・ロスリング氏の著書「ファクトフルネス」という本を読みました。その本の中で、皆さんも聞きながら想像していただきたいと思いますが、

- ・世界の平均寿命は現在およそ70歳であること。
- ・自然災害で毎年亡くなる人の数は、過去100年で半分以下になったこと。
- ・世界中の1歳児の中で、何らかの病気に対して予防接種を受けている子供は80%であること
- ・いくらかでも電気を使える人は、世界で80%いること。

などを知り、これまで私が思い込んでいた世界の知識、イメージは事実とかけ離れていることに気づかされました。物事には必ず光と影の部分があり、限られた情報やひとつの視点だけでは世界を理解できないことを改めて感じました。

いよいよ4月から小学校において、新学習指導要領が全面実施されます。新指導要領の趣旨を生かし、これから、グローバルな社会を生きぬいていく子供たちには、より一層の広い視野や多角的・多面的な知識や考え方を身に付けさせ、あふれる情報の中から大切な情報を選び抜く力をつけさせていくことが必要であります。そして、甲府の教育の指導重点である「思い遣る心の育成」をとおして、世界をも思い遣ることができる心を育てる「甲府の教育」の一層の推進を図っていかなければならないと考えております。甲府市教育委員会としても、こうした新しい時代に見合った教育の推進を図るためにも、さらなる教師の指導力の向上や教育環境の整備を進めていく必要があると考えております。

今年度最後の教育委員会になりますが、教育委員の皆様、事務局の皆様のこれまでのご尽力に感謝申し上げますとともに、引き続き来年度もよろしく願いいたします。奇しくも本日は東日本大震災から九年目にあたります。あの時の世界からも称賛された冷静な行動や思い遣り、助け合う精神の大切さを教訓に、新型コロナウイルス感染への冷静な対応と一刻も早い収束を願いつつ、私のあいさつといたします。

(2) 会議録署名委員の指名

小林教育長

会議録の署名委員は、市川職務代理を指名します。

(3) 前回会議録の承認

小林教育長

前回の議事録について、何かご意見はありますか。

よろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 議題

小林教育長

第4号 令和2年度甲府市学校指導重点について

資料に基づきまして、寺田学校教育課長より説明をお願いします。

(寺田学校教育課長より資料に沿って説明)

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

よろしいでしょうか。

それでは原案のとおり決定するということよろしいでしょうか。

それでは原案のとおり決定いたしました。

【原案のとおり決定】

(教育委員会承認)

小林教育長

第5号 甲府市学校運営協議会規則の制定について

資料に基づきまして、寺田学校教育課長より説明をお願いします。

(寺田学校教育課長より資料に沿って説明)

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

市川委員

これは甲府市の運営規則ですが、これを受けて各学校でそれぞれの学校の規則を定めるという流れでよろしいでしょうか。

寺田学校教育課長

この規則を受けて学校独自の内規を作りながらやっていきますが、基本的にはこれに準じていただく形で考えております。ちなみにこの規則については、県内他市町村や先進地域のものを参考にしながら作っている状況です。

原委員

16条(2)の“11条に違反した場合”とありますが、11条でよろしいのでしょうか。

寺田学校教育課長

ご指摘いただいたとおり、第14条へ訂正します。

原委員

学校評議員と学校運営協議会の違いは何でしょうか。例えば善誘館の場合は並行してやっていくということでしょうか。

寺田学校教育課長

学校評議員は地域や保護者の声を聞くものですが、校長の求めに応じて意見を述べることになっているため、校長の求めが無ければ意見を述べることはないところが学校運営協議会と違うところです。また学校運営協議会は合議体ですが、評議員は個別に校長が意見を求めるため必ずしも合議ではないので、そういった意味では学校運営協議会の方がより強い権限を持っていて、学校運営に参画できる仕組みになっております。

他市では学校評議員の方を学校運営協議会の委員に指名している形で、並立というよりも学校運営協議会に吸収して、よりしっかりした組織である学校運営協議会の方で学校への参画をしているという方向性になっています。善誘館小学校につきましても、学校評議会を学校運営協議会へ統合して学校運営の参画を図るという方向性になっております。

小林教育長

他にはないでしょうか

それでは、原案のとおり決定するというのでよろしいでしょうか。

原案のとおり決定しました。

【原案のとおり決定】

(教育委員会承認)

小林教育長

第6号 甲府市立図書館基本計画(案)の策定について

資料に基づきまして、本田図書館長より説明をお願いします。

(本田図書館長より資料に沿って説明)

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

末木委員

図書館職員が6名いるということで、図書館というのは専門的な知識が必要ですが、職員の中で何人くらい司書さんはいるでしょうか。

次に、レファレンスサービスについて、郷土資料以外では、例えばビジネス支援関係の資料を揃えたり、関係機関に繋げたりと、職員の知識も必要になりますが、どのようにしているか考えをお聞かせ願います。

また、計画の策定にあたって、図書館協議会に意見を伺う中で計画が作られており、進行管理の方も協議会から評価をいただいている形となっておりますが、進行管理にあたって評価指標に基づいて評価していると思われませんが、評価指標とはどんなものか教えていただきたいです。

本田図書館長

職員については正職員が6名いますが、甲府市立図書館の職員の構成については、平成17年に図書館法により、専門的な事務を行う者を司書とし、教育委員会が必要と認める管理事務を行う者を置くことができるとされており、6名というのはその管理・運営を行う行政職の職員であります。現在専門的な仕事をする者は27名で全員司書の資格を持っており、それ以外に2名が司書の補助としてカウンター業務をしており、うち1名は司書の資格を持っています。職員の中でも司書の資格を持っている者は2名いる状況ですが、主に管理運営の仕事となるため、行政的な感覚を持っている者も必要であると考えます。

レファレンスサービスについて、ビジネス支援関係の要望については難しいところですが、図書館としては社会に役に立つ存在であることが求められており、他市を調べる中で、ビジネス支援関係に力を入れているところや地域に特化し取り組みをしている図書館もあるなかで、甲府市としては今需要があるわけではないが、これからビジネス面などでも役に立てられるように考えて発信していこうと考えております。

評価指標につきましては、図書館の管理運営というのは事業評価の対象となっております、現在は来館者数と登録者数を指標としております。図書館業界のなかでは貸出数を伸ばそうという動きがあるなかで、それのみで評価するのはいかがなものかという意見もありまして、来館者数や登録者数を評価指標としており、そのほかにはアンケート等の意見も参考にしておりますので、事業評価と合わせて協議会の方に評価していただきたいと思っております。

末木委員

市立図書館で行うイベントや企画について、司書さんが企画段階で関わってアドバイスをしてもらい、図書館の資料を活用してもらいたい。

本田図書館長

講演会等がある場合は、その方の著者物など関連するものがあれば提出するなどの支援をしています。

原委員

26ページから、60～70代の方の利用が大変多いことと、退職された方の居場所として図書館を利用しているという声を聞きますので、子どもさん・若年層の方ももちろんのことです

が、高齢者が居やすい場所として計画していただけるとよろしいのかと思います。市民サービスのひとつとしてよろしくをお願いします。

本田図書館長

図書館協議会及び社会教育委員からの要望も出ていますので、考えていきたいと思います。

市川委員

図書館のイメージから、活字と紙という文化の拠点、という役割を意識しながら運営していただければと思います。

小林教育長

他にはないでしょうか。

それでは、原案のとおり決定するということでもよろしいでしょうか。

原案のとおり決定しました。

【原案のとおり決定】

(教育委員会承認)

(2) 報告

小林教育長

第3号 令和2年度甲府市立小中学校児童生徒入学者予定数について資料に基づきまして、内藤学事課長より説明をお願いします。

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

原委員

千代田小学校が0とのことですが、今年は違う学区からの応募はなかったでしょうか。

星野総務課長

1年生の応募者は0ですが、2年生に入る児童は1名います

小林教育長

ほかにはないでしょうか。

よろしいでしょうか。

では確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

小林教育長

その他ですが何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

4 閉会

小林教育長

それではこれもちまして、3月定例教育委員会を閉会します。